

兵高教組

2022年7月19日

調査情報 5号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL: 078-341-6745 FAX: 078-351-3185

URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com>mail: honbu@hyogo-kokyoso.com

少人数学級を実現し、地域の高校を守ろう

高校統廃合計画を撤回させよう

県教委、全日制県立高校 14 校を6校にする一方的な計画発表

神戸北・神戸甲北	伊川谷・伊川谷北	西宮北・西宮甲山
三木北・三木東・吉川	姫路南・網干・家島	福崎・夢前

◎未曾有で大規模な統廃合計画

7月14日、県教委は、2025年度に6校に統合する県立高校14校の校名を発表しました。2028年度にも12校を6校に統合する計画があり、前例のない大規模な統廃合計画となっています。高教組は、これまで、県教委に対して、統廃合の対象となる高校の生徒・保護者・地域住民・教職員・卒業生など関係者の意見をよく聞くことを求めていましたが、そのような手続きを経ず、対象校を決定・発表したことに強く抗議します。

◎さらなる大再編の危惧

7月15日付け神戸新聞によると、2021年度の新入生が、今回の統廃合計画の基礎となった現小学校2年生より9千人減少しており、「大再編の序章」との見方があることを指摘しています。今こそ、少子化を食い止め、持続可能な地域社会にするための積極的な努力が必要です。しかし、教育行政としての肝心な中長期的な社会づくりの視点はなく、少子化という現状に追随しただけで数あわせの夢も希望もない統廃合計画では、兵庫の教育をよりよくしていくことはできません。

◎少人数学級と小規模校加配で

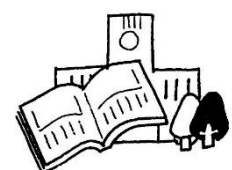
地域の高校を守れ

同じ神戸新聞には、対象校とされた高校の卒業生や地域住民の、「母校がなくなるのはさみしい」「町の元気がなくなる」などの声が紹介されていますが、当然の反応です。また、北播の吉川高校では吉川高校開

設の経緯と統合後の遠距離通学が心配との声が紹介されています。高教組は、毎年夏休みに自治体と懇談する中で、このような地元の高校に対する熱い思いと期待を感じてきました。また、この間、姫路ではさまざまな会派の市議と懇談を重ねてきましたが、「学校を守ることは地元を守ることだ」「学校は地域文化・防災の拠点だ」との意見をもらいました。高校が地域に存在することは安心して子どもたちを育てられる町づくりのポイントです。その熱い思いと期待にこそ教育行政は応えるべきです。1学級40人の定員を、30人、20人と少人数にし、それでも学校規模が小さければ教職員の小規模校加配を行い、多様な教育活動を支援すべきです。

◎7月24日 姫路での集会に多数ご参加を

対象校が発表されたからといって、全ての統廃合が決まってしまったわけではありません。7月24日(日)には、午後1時半から3時半までの予定で、姫路市勤労市民会館大会議室(姫路市中地 354 番地)において「姫路市内から私たちの高校を減らさないで! 地域にある高校のあり方については住民の声を大切にして欲しい意見交換会」(高校通学区拡大反対連絡協議会主催)が開催されます。集会で出される意見も踏まえ、高教組として、保護者・地域住民・卒業生など広範な人々とともに、機械的な高校再編に反対し、計画撤回を求める運動を進めていく決意です。多くのご参加を呼びかけます。



現場で困っているあなたを助きたい。高教組へぜひ!